

# 県立横須賀高等学校

グローバル・ハイスクール

## 令和4年度年間報告

### 1 <成果指標と実績>

<成果指標と実績>					
成果指標	初期値	R5年 目標値	R3年 実績(評価)	R4年 実績(評価)	R5年 実績(評価)
①「家庭学習の中心」が「自分で必要と判断した学習」である生徒の割合	1年 26%	60%	24%(F)	10%(F)	%( )
	2年 23%	70%	19%(F)	14%(F)	%( )
	3年 18%	75%	34%(D)	19%(E)	%( )
②1週間の家庭学習時間の平均	1年 4.9h	7h	3.2h(F)	7.7h(A)	h( )
	2年 2.2h	10h	2.8h(D)	8.05h(B)	h( )
	3年 2.0h	12h	5.3h(D)	7.82h(C)	h( )
③自ら進んで授業に取り組む生徒の割合	1年 16%	80%	20%(E)	24%(E)	%( )
	2年 20%	80%	19%(F)	24%(E)	%( )
	3年 24%	80%	31%(E)	19%(F)	%( )
④授業内容等に興味があって学校を選じた生徒の割合	48%	R6年 80%	R4年 85%(A)	R5年 %( )	R6年 %( )

### 2 <年間の取組報告>

#### (1) グローバル・ハイスクール研究委員会の設置

今年度の取組(県外視察、企業見学、就業体験)等について内容や在り方の検討を行い、昨年度コロナ禍で実施できなかった就業体験の準備に力を注いだ。研究委員による県外視察は1回(三重県立桑名工業高等学校)、また、池新田高校との合同委員会は4回開催し、互いの進捗状況やそれぞれの事業への助言など、各事業を推進する上で大きな役割を果たした。

#### (2) 総合的な探究の時間の充実

1年生は地域の商店等の見学(17事業所)と魅力発信のための動画やサイトの作成、2年生は企業見学(10事業所、一人あたり2事業所見学)を実施し、

1年生は「地域人探究」の中で、一般財団法人「未来学校」に依頼し、外部の社会人20人による体験的な講話「未来授業」を実施した。また、地元商店(17事業所)を訪問し、各商店の取り組みや取扱商品などの魅力を発信するための動画やサイトの作成を行った。2年生は「地域探究」として掛川市役所の御協力のもと、掛川市の魅力発見講座・掛川の企業についての講座、会社見学(10事業所、一人あたり2事業所見学)を実施した。5日間の就業体験についても2年生全員を対象に、従来の3日間から5日間に拡充し、各事業所(52事業所)の協力のもと計画通りに実施することができた。

#### (3) 関係機関との連携及びコーディネーターの活用(コンソーシアムの設置)

掛川市や地元支援団体との連携に関する協議を3回実施(4、5、11月)し、コーディネーターの選定、連携事業について協議した。コンソーシアムについては、この協議を核としたものを緩やかなコンソーシアムと位置づけ、今後も学校の魅力化に向けて随時、情報交換していくことになっている。

コーディネーターには、各種打合せに参加していただくとともに、特に1年生の地域探究における地元商店への協力依頼で尽力いただいた。

#### (4) 地域等及び地元企業への情報発信の充実及び拡大

3月17日に、この事業を含む「総合的な探究の時間」の発表会を行い、各学年の代表生徒が成果をポスターセッション、動画、サイトなどの形で発表し、関係した地元商店を招いて開催した。また、昨年引き続き、地域と連携した他の事業も含めて、「地域連携」をテーマとした成果物として、広報誌を3月に発行した。1年生の「地域人探究」で作成した地元商店等の紹介動画やサイトについては、商店等の場所をMAP(A3版)に記し、QRコードを付して、そこから閲覧できるようにした。地域に配布するとともに学校HPでも公表した。

### (5)新しい形での就業体験の実施

2年生のインターンシップについては、従来の形式（3日間）から5日間の実施に向け、1学期から協力企業の依頼をすすめ、2学期からは生徒への事前指導に取り組んだ。コロナ前以来の実施となるが、52事業所から協力を得ることができた。

1・2年生の希望生徒による長期休業中の就業体験も5日開催で各事業所に依頼をしたが、夏は3日間ならば可能との回答が多く、冬については期間も短く年末年始もはさむため実施は困難であることが分かった。



### 3 <特徴的な取組>

#### 地域と連携し、地域に学ぶ取り組み

令和3年度より新しい試みとして掛川市役所企画政策課、広報シティプロモーション課及び産業労働政策課と連携し、1・2学年の生徒を対象に、2つの事業に取り組むこととした。2学年では1つめの事業「地域探究」を実施し、本校が所在する掛川市についての理解を深めることを目的に、「掛川市の魅力」「掛川市の課題」を中心テーマとして、市役所担当課職員に講話を依頼し、地域への関心や理解を深めることができた。2つめの事業として、掛川市に掛川市内の先端技術を持つ企業を10社紹介していただき、「企業見学」を実施した。1年生の「地域人探究」では、当初2年同様に会社見学を計画していたが、もっと学校のある「横須賀」の地域に絞り、地元の歴史ある伝統産業や地場産業など地域の魅力を創出している商店等を訪問し、そこでの取り組みや取扱商品を紹介する動画やサイトを作成し、地域の魅力を発信する取り組みを実施した。掛川市や地元観光協会スタッフ、コーディネーターと連携し、17事業所の協力を得ることができた。完成した動画等は、「(仮称)横須賀の町巡りMAP」(A3版)に協力事業所の場所を明示するとともに、QRコードを付して、そこから生徒が作成した作品を閲覧できるようにまとめることができた。



### 4 <成果と課題>

#### (1) 普通科の魅力向上の実現

成果としては、就業体験を核として、地域の魅力や課題を学び、体験を通じて将来の進路意識を向上させることができた。また、本校の総合コース（家庭・商業・工業）の魅力をさらに伸ばす取り組みができた。課題としては、取り組みの成果を生徒の学習意欲や学習習慣につなげていく工夫の改善を図ることがあげられる。

#### (2) 「目指す学校像」に向けての進捗

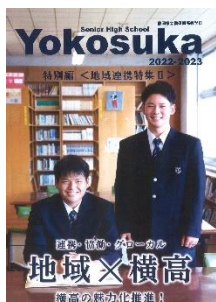
2年生の就業体験では、学校の教科・科目では学べない体験や先端の技術に触れることができた。課題としては、令和6年度以降も継続できる取り組みを次年度は検討していきたい。

#### (3) 生徒の資質・能力の成長

特に2年生の就業体験では、これをきっかけに将来の進路について考える生徒が増え、学校生活も落ち着いてきたことは顕著な成果である。地域や企業とのかかわりを持つ中で、人と接する力や聞く力、まとめる力、表現する力を伸ばしていくことが課題である。

#### (4) 地域に開かれた教育課程の実現

1・2年の各事業で、より多くの地域や企業等に協力していただくことができた。特に家庭コースにおいては授業の中でも地域との連携を深め、学校の魅力発信に貢献した。課題としては、工業・商業コースでの地域連携をより充実させるとともに、地域に貢献できる生徒を育てるため、令和6年度以降も継続できる学校全体として就業体験を中心とした地域と連携した探究的な取り組みを構築していくことである。



1年生作成の地元商店を紹介するサイト(写真中)と動画(写真右)

←グローバルハイスクール事業を中心とした本校の地域連携をまとめた冊子